

膵癌術前治療中のリパクレオン内服の効果に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2024 年 4 月から 2025 年 10 月までに当院で膵癌に対して術前治療後に手術を受けられた方

2. 研究の概要

術前補助治療を行う膵癌患者さんは副作用などによる栄養状態の悪化が懸念されるため、術前治療中の栄養管理が重要です。膵癌患者さんは腫瘍による膵外分泌機能不全を有することが多いですが、術前補助治療中のパンクレリパーゼによる膵酵素補充療法の役割は明らかではありません。本研究では、その効果を栄養状態の変化および術後成績の観点から検討することを目的としました。

研究期間：所属機関の長の研究実施許可日～2029 年 3 月 31 日

研究目的：膵癌術前補助治療中のパンクレリパーゼによる膵酵素補充療法の効果について検証すること

研究方法：研究対象者の方の診療録を用いて、術前治療中にリパクレオンを内服されていた方とされていなかった方で術後栄養状態の変化、術後合併症に与える影響について検討すること

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、予後、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化器外科 肝胆膵グループ

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：主任部長 小林 省吾

連絡先担当者：副部長 福田 泰也

-----以上